

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		ご本人・ご家族の思いや要望を確認する機会を定期的にとれていない為、職員はご本人・ご家族の思いや要望を把握できていない。	ご本人・ご家族と職員がご本人の暮らしぶりやご家族の願いについて共有できる。	ご本人の暮らしぶりや健康状態について、ご家族に報告し、要望等を聞き取る機会を設け、職員で共有し、実現に向けてケアを見直すようにする。	12ヶ月
2		運営推進会議の参加者が固定化しつつあり、話題が乏しく、地域に必要とされる開かれた事業所として確立できていない。	事業所の存在、運営について、より多くの地域住民に知ってもらう。	事業所が交流を持っている学校やボランティア団体、その他保育園や消防署、町内会の方々に会議への参加を依頼し顔の見える関係作りを進める。	12ヶ月
3		現職場での経験年数はあっても、介護福祉士取得者が少ない。資格を取得し、職員の力量向上とチームの総力向上を目指すべき。	介護福祉士の取得率を50%以上としたい。	キャリアアップ支援制度の周知と資格取得の促し、フォローアップに努める。	12ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。